

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立諸富南小学校

4月から5月にかけて、文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童・生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育の改善を図るとともに、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

調査期日 令和8年4月23日（木）

（注）質問調査については、オンライン方式（CBT方式）のため、調査日を分散して実施

調査の対象学年 小学校第6学年

調査の内容

（1）教科に関する調査

国語、算数

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では、上記①と②を一体的に問うている。

（2）質問調査（1人1台端末を用いたCBT方式）

児童生徒に対する質問	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
学校に対する質問	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

教科に関する調査結果及び考察について

・全国学力・学習状況調査は、小学6年生及び中学3年生を対象に、国語、算数・数学、英語について実施されています。

・また、調査問題は、各教科の一部の内容について出題されているものであり、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」です。
したがって、調査結果を見る際には、この点をご理解いただいた上で、ご覧ください。

質問
調査

佐賀市学校教育ビジョンに関わる設問より（キーワード：自律・尊重・創造・主体性・当事者意識）

《質問領域：主体的・対話的で深い学び》

（注）数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）

質問 番号	質問事項	本校 (%)	全国 (%)
39	前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	78.1	77.6
42	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	90.2	85.7
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてい、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	92.7	91.4

本校の調査結果 ※◎（強み）、●（課題）

◎友達と学び合うことを大切にしながらか学習に取り組んでいる様子が見られます。

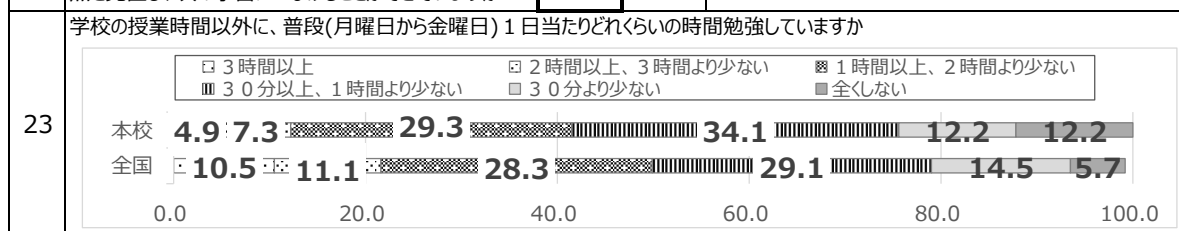
◎学習の見通しをもち、自ら学習方法を選択しようとする姿が見られます。

●自分の学習状況を把握したり、次の学習につなげたりする力を高める必要があります。

●学校と家庭が連携しながら、毎日の学習習慣の定着を図っていく必要があります。

《質問領域：主体的な学習の調整、学習習慣》

22	分からないことやよく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	92.7	79.4
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	73.1	78.4



《質問領域：自己肯定感、幸福感 等》

8	自分には、よいところがあると思う	85.4	85.6
10	将来の夢や目標を持っている	61.0	81.8
15	学校に行くのは楽しいと思う	80.5	85.7
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	85.4	92.5

本校の調査結果 ※◎（強み）、●課題

◎多くの児童が学校生活を楽しんでいる様子が見られます。

◎思いやりや奉仕の心が育まれており、周りの人や社会とのつながりを大切にしようとする意識が高いことが見られます。

●キャリア教育の充実や様々な体験活動を通して、自分の将来について考える機会を増やしていくことが必要です。

《質問領域：向社会性》

14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.6	95.8
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	80.5	80.1

調査結果を受けて

【学校では】

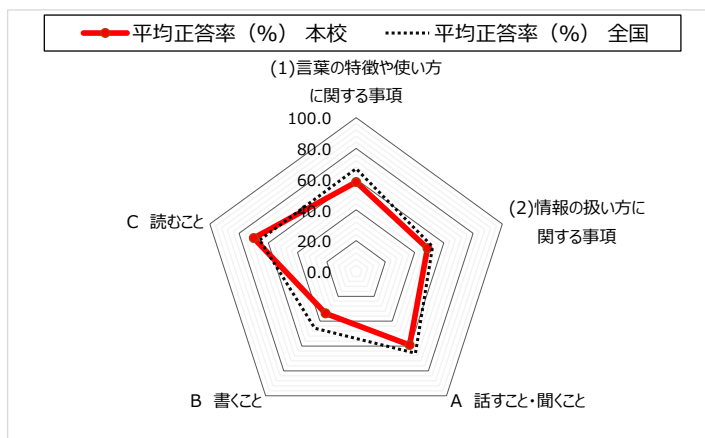
- 授業の終末に、「何ができるようになったか」、「どこでつまづいたか」、「次に頑張りたいことは何か」を振り返る時間を設け、学習を調整する力を育みます。
- 地域に関する学習、係活動や委員会活動などを通して、自分のよさに気付いたり、人の役に立つ喜びを感じたりして、将来の夢や目標を考える機会を増やしていきます。

【ご家庭では】

- 毎日の学習を無理なく続けられるよう、ご家庭でも見守りをお願いします。
- お子さんのよいところやがんばりを見付けて、温かい声掛けをお願いします。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容		平均正答率 (%)	
		本校	全国
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	58.1	66.8
	(2)情報の扱い方に 関する事項	48.8	52.3
思考力、 判断力、 表現力 等	A 話すこと・聞くこと	59.2	65.8
	B 書くこと	33.8	45.7
	C 読むこと	70.0	65.9



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	56.4	61.9
短答式	46.3	62.6
記述式	57.5	54.9

結果 ※◎ (強み)、●課題

- ◎文章の内容を捉え、自分の考えを形成する力が身に付いていると考えられます。
- ◎言葉や情報を関連付けて考える力に、強みが見られます。
- 自分の考えを適切な言葉で表現したり、文章全体の構成や展開を考えながら表現したりする力に課題が見られます。
- 漢字の定着や、文章の組み立てを意識して読む・書く力を育てていく必要があります。

《正答率の高い問題》【強み】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
3三 (2)	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	85.0	76.4
3二	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	62.5	55.6

《正答率の低い問題》【課題】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
2三イ	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	15.0	45.2
2一	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる	37.5	57.9

調査結果を受けて

【学校では】

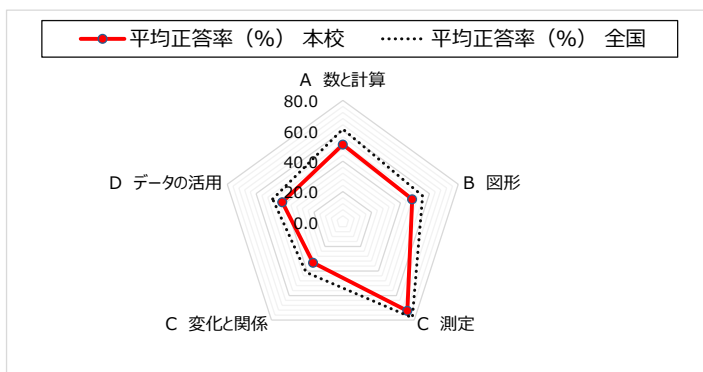
- 授業や日記、ノート指導の中で、習った漢字を積極的に使う機会を増やします。
- 理由や根拠を明確にし、筋道立てて書く力を育てます。

【ご家庭では】

- 読書や音読に親しむ機会をつくってください。
- お子さんの考えや感じたことを聞く時間を大切にしてください。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容	平均正答率 (%)	
	本校	全国
A 数と計算	50.9	61.1
B 図形	48.1	55.3
C 測定	72.5	78.1
C 変化と関係	33.3	41.1
D データの活用	41.9	48.6



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	46.5	56.0
短答式	54.7	59.7
記述式	38.3	48.5

結果 ※◎ (強み)、●課題

- ◎学習したことを活用して考える力が身に付いています。
- ◎問題の条件を整理しながら考える力が育っています。
- 答えを求めるだけでなく、考え方を筋道立てて表現する力を高めていく必要があります。
- 問題文を丁寧に読み取り、必要な情報を整理する力を伸ばしていく必要があります。

《正答率の高い問題》【強み】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
4 (1)	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見つけ、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる	57.5	56.2
3 (1)	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる	95.0	94.5

《正答率の低い問題》【課題】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
2 (1)	数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる	50.0	66.5
3 (3)	異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	27.5	44.0

調査結果を受けて

【学校では】

- 式や答えだけでなく、「なぜそう考えたのか」を説明する活動を、授業の中で充実させます。
- 問題文から必要な情報を整理し、図や表、式を用いて考える学習に継続して取り組みます。

【ご家庭では】

- お子さんに答えだけでなく、「どう考えたの？」と声を掛け、考えを話す機会をつくってください。
- 算数の問題に取り組む際は、問題文を最後まで丁寧に読む習慣が身に付くよう見守ってください。